

〈資料編〉

(1) 第11次水道水源林管理計画の概要

計画期間	平成28(2016)年度から令和7(2025)年度まで
目的	多摩川上流域において、その全域を見据えた森林の育成・管理により、安定した河川流量の確保及び小河内貯水池の保全を図ります。 また、豊かな自然環境を次世代に引き継ぐとともに、親しまれる水源林を通じて東京水道への信頼を醸成します。
基本方針	(1) 多摩川上流域の森林が持つ機能(水源かん養機能、土砂流出防止機能、水質浄化機能等)のより一層の向上を図るため、森林整備を推進します。 (2) 水源林に関する情報の発信や多くの方々とのコミュニケーションを通じて、水源地保全の重要性や水道事業への理解の促進を図ります。 (3) 水源林の適正な管理などを通じて、地球温暖化緩和などの環境保全に貢献します。

(2) これまでの取組の実績

民有林の購入(重点購入地域)(16 ページ)

年度	H29	H30	R1	R2
面積(ha)	80	115	270	21
件数	14	42	65	4

民有林の購入(公募)(18 ページ)

年度	H29	H30	R1	R2
面積(ha)	147	155	34	0
件数	9	10	4	0

多摩川水源森林隊による保全活動(19 ページ)

年度	H29	H30	R1	R2
実施回数	150	151	138	91
参加者数	1,999	1,843	1,543	920
整備面積(ha)	16	20	8	11

購入した森林の再生(20 ページ)

年度	H29	H30	R1
整備面積(ha)	82	93	97

多摩川水源サポーター(24 ページ)

年度	H29	H30	R1	R2
メールマガジン配信回数	19	23	23	17
登録者(人)	1,283	1,543	1,980	2,308

東京水道 水源林寄附金(25 ページ)

年度	H29	H30	R1	R2
件数(件)	-	42	31	9
金額(円)	-	271,657	5,409,010	1,970,714

東京水道～企業の森(28 ページ)

年度	H29	H30	R1	R2
参画企業数(社)	6	7	7	9
(うち新規)	(6)	(1)	(1)	(2)

企業協賛金制度(29 ページ)








年度	H29	H30	R1	R2
協賛企業数(社)	9	7	7	10
口数(口)	20	10	10	21

学生による森林保全活動(32 ページ)

年度	H29	H30	R1	R2
学校数(校)	3	4	3	2
人数(人)	43	54	57	20

※令和2年度の実績は、令和2(2020)年12月末現在のものです。

(3) 取組とSDGsとの対応関係

取組内容		3	4	6	11	13	15	17
								
促進する取組 都民の理解を	水道水源林特設サイトの開設	○	○					○
	ふれあい館等のリニューアル		○					○
	ふれあいのみちのトイレの改修	○					○	○
	花々で彩る水源林	○					○	○
民有林の保全・管理 多摩川上流域における	民有林の積極的な購入			○	○	○	○	○
	購入が難しい民有林への対策			○	○	○	○	○
	民有林の公募購入			○	○	○	○	○
	多摩川水源森林隊による保全活動	○		○	○	○	○	○
	購入した森林の再生			○	○	○	○	○
	民有林の状況の適切な把握			○	○	○	○	○
	地元自治体等関係機関と連携した林道等の基盤整備			○	○	○	○	○
多様な主体と連携した森づくり	多摩川水源サポーター		○					○
	東京水道 水源林寄附金			○	○	○	○	○
	水源林ツアー	○	○					○
	東京水道～企業の森 (ネーミングライツ)	○	○				○	○
	企業協賛金制度			○	○	○	○	○
	大学との共同研究		○	○	○	○	○	○
	学生による森林保全活動	○	○					○
	小学生向けの学習支援		○					○
	地元自治体と連携したPR・情報発信			○	○	○	○	○
	地元自治体等関係機関と連携した水源地保全			○	○	○	○	○

目標 3	すべての人に健康と福祉を	目標 13	気候変動に具体的な対策を
目標 4	質の高い教育をみんなに	目標 15	陸の豊かさを守ろう
目標 6	安全な水とトイレを世界中に	目標 17	パートナーシップで目標を達成しよう
目標 11	住み続けられるまちづくりを		